

令和 4 年 12 月 7 日 議会改革特別委員会 議事録
11 時 05 分 開会

○出席委員 (7 人)

委員長 網谷 芳孝

副委員長 西村 一啓

委員 藤川 和弘、小中 真樹雄、小田上 尚典、北地 範久、日城 究

議長 賀屋 幸治

○欠席委員 (1 人)

委員 原田 孝徳

○傍聴者 (5 人)

議員 末広 天佑、中川 智之、児玉 朋也、細川 雅子、寺岡 公章

○網谷委員長 それでは、定足数に達していますので、これより議会改革特別委員会を開会いたします。

なお、原田委員から体調不良のため欠席届が出ておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、日程第 1 から始めさせていただきます。

議会報告会の共通テーマでございます議員定数についての読み原稿が小中委員から出ております。報告会の班長会議で、若干の修正がございましたが、議会改革特別委員会として修正等がございましたら。

小田上委員。

○小田上委員 どういう意見があったのかという紹介だけで終わっていいのかなと思います。特に、班長会議でも言いましたけど、大きく変えたほうがいいとかっていうところはありませんので。

○網谷委員長 班長会議の紹介ですね。

若干の変更点で、文章の 4 行目、「この結果、来年」となっているところを「今夏」だね。一文字加えるということで。ここだけじゃったですね。

○小中委員 想定問答で、次回、無投票になったらどうするんだという意見が出た場合、今回のように選挙が迫った状態で議論するのではなく、時間をかけて議論をすることが望ましいと議会改革特別委員会では考えていますというような形にしたらいいという意見がありました。

○網谷委員長 そうですね。

今、小中委員に説明いただいたとおりでございます。

こちらは想定問答ですからね。

○小中委員 そういう意見が出なかったら、この部分は言うことはないけど、万が一どないすんねんということになったら、そう答える部分はあるかなと思って、ほかの意見もあれば、それで十分ええと私は思っております。

○網谷委員長　ありがとうございます。

小田上委員、どうぞ。

○小田上委員　「今夏」というか、書いてある、読み物だったら分かるんですけど、「今年夏」のほうが、読み原稿だったらいいと思います。

○網谷委員長　議会改革特別委員会としましては、承認ということでよろしいですかね。

それでは、小中委員、よろしくお願いします。

日程第2、基地周辺対策特別委員会の委員長からよろしいですか。

北地委員。

○北地委員　先ほど、基地周辺対策特別委員会で、中継についてをテーマにして議論したんですけども、なかなか議論伯仲で、賛成、反対、継続という3つの意見が拮抗し、まとめ切れませんでした。皆さんの意見としては、議会改革特別委員長には大変御迷惑をかけるんですけども、もう少し時間を頂いて議論したほうがいいんじゃないかという流れになっております。

○網谷委員長　ありがとうございました。

広報広聴特別委員長よろしいですか。

○小田上委員　広報広聴特別委員会は、議会だよりを作る部分の中継は好ましくない、難しいんじゃないかというところ。ただ、広聴の部分、今、いろんな取組を考えていて、その過程は中継してもいいんじゃないかという意見が出ました。なので、内容によって中継するもの、しないものを分けるとなりました。

同じ日程の中で、中継する、しないといものが、混在するとよくないということで、日程決めのときに、次回中継をします、しませんというところは、委員会内で決め、次に備えていくことで、編集会議以外は中継する方向で決まりました。

以上です。

○網谷委員長　ありがとうございました。

若干の余裕を持たせながらやっていくという意味ですね。分かりました。

以上、基地周辺対策特別委員会と広報広聴特別委員会の説明がございましたが、本特別委員会でも、協議しておきたいんですが。前回、少し触れたんですが、できないというような方向性だったと思うんですが、よろしいですかね。

若干、この後の要綱にもよるんですがね。する必要が出たらやってもいいんじゃないかというような取扱いにできればと私自身は思うんですが。完全にやらないというんではないに。

ほかに意見があれば。

小田上委員。

○小田上委員　基地周辺対策特別委員会の傍聴をしていて感じたところではあるんですけど、どの程度の議論だったら中継していいっていう線引きをすると、かなり難しいと思うんですね。決め事があるときだけって、それも難しいと。芳しくない内容のものを出していいのかという思いがあるのも、心情的には分かりますけど、傍聴しようと思えば来れるので、基本的に議会改革特別委員会の中継をしていてもいいんじゃないかなと僕は思っています。

○網谷委員長 このあとの大竹市議会中継の実施に関する要綱の一部改正にも関係するんですがね。余裕を持ってというふうに解釈してもよろしいのではないかと思います。

基地周辺対策特別委員会は、結論的にはもうちょっとという意味ですね。先ほど、私も出席させていただきましたが、特別委員会は、そのような流れということで解釈してよかろうかと思うんですが、よろしいですかね。

小田上委員。

○小田上委員 改正案のところが前後してるんで、なかなか方向というのが決めづらいのかもしれないけど。

基本的に議会改革特別委員会は、もし中継できるようになるとしたら、中継するで僕はいいんじゃないかなと思うんですけど。

見てくれるとか、見てくれない、内容がどうこうとかっていうよりも、これについてどう思うかって、話をしている場じゃないですか。基地周辺対策特別委員会のことと言えば、一番は執行部からの情報提供があって、それに対しての質疑もあまりないという流れで終わってしまうので、そういうところを流していいのかという部分もあったと思うんですけど、いろんな委員の意見が飛び交う場なので、基本公開という立場を取っておいていいんじゃないかなと思うんです。そこが改正案が決まってから決めるのか、今の段階で決めておくのかっていうのが分からないんですけど。基本的に流していいと思っています。

○網谷委員長 公開をですね。

ありがとうございます。

私、この後に大竹市議会中継の実施に関する要綱のことをお伺いしようか思うんですが。要綱の改正も含めて一緒に議論してまいりたいと思います。

前回、委員の方から、改正案を出してみても、それをたたき台にしてからという発言がございましたので、今回、改正案をサイドブックスに出してます。正副委員長と、今回、小中委員にも入っていただきまして、作成し、余裕のある要綱文になったと私は解釈したんですがね。

ちょっと読んでみます。「議会中継の対象とする会議は、本会議及び常任委員会とする」これはもう、しなければならないという方向性になっておるかと思います。それから、「特別委員会も中継できるものとする」ということなので、委員会も特別委員会も、この言葉をちょっと掘り返してみれば、ちょっと今回は中継しないというようなこともできるのではないかなという文言になっておると思うんですが。一生懸命考えたんですが、皆さん、どう思われますかね。

小田上委員。

○小田上委員 この要綱文に関しては、特別委員会も中継できる、できる規定なので、しない場合もあると。特別委員会、それぞれ特徴ありますので、中継がふさわしくないだろうというものもあると思うので、この要綱に関しては、動きやすい、いい文言になったんじゃないかなと思います。これでいいと思います。

○網谷委員長 ありがとうございます。

委員会の総意ということもあろうかと思いますが、最終的には正副委員長の判断で行う

と解釈していただければと思います。

北地委員。

○北地委員 確認の意味でちょっと聞くんですけども、特別委員会の範囲といいですか、それはどのように。

○網谷委員長 一応、今、議会であるのは3つですかね。基地周辺対策特別委員会に広報広聴特別委員会に議会改革特別委員会。

○北地委員 予算・決算特別委員会は。

○網谷委員長 失礼しました。予算・決算特別委員会入れますと5つありますね。

北地委員。

○北地委員 議会運営委員会は、どうなるんですか。

○網谷委員長 あれは常任委員会になるんじゃないですか。

局長、よろしいですかね、それで。

常任委員会のほうに議会運営委員会は入るということで。

要するに、委員会はこの要綱では一応できると解釈していただいたらと思うんですが。

(発言する者あり)

○網谷委員長 議会運営委員会は流れとるんですかいね、今現在。私は流れとると解釈しとったんですが。

局長。

○三上議会事務局長 議会運営委員会も放送はしていると思います。ただ、これはコロナ対策の一環で中継しているということだったと思います。要綱上は常任委員会ということになっていますので、議会運営委員会は入りません。

○網谷委員長 議会運営委員会は入らない。常任委員会には入らない。

ですが、名称は議会運営委員会で、委員会という名がついている。それはどこに入るんですか、それじゃあ。

常任も特別も入りませんよね。

どちらにしましても、それは流していただくようなことになろうかと思いますよ。

それで、常任でないんだからどうなのかね。

小田上委員。

○小田上委員 常任委員会という定義の中に、まず議会運営委員会が入るかどうかですよ。局長の説明だと、議会運営委員会が入らないという説明だったと思うんで、中継対象になっていないということ。

○網谷委員長 議会運営委員会はね。

○小田上委員 今、中継しているっていう答弁があったのは、庁内、議員に向けてだけで、一般公開ではないと思うので、一般に中継したほうがいいということであれば、議会運営委員会もこの中の文言に入れるのかですけど。正直なところ、直ちにどうかというのは必要性をあんまりぴんときていないところではあります。

なので、まず常任に入るか、入らないかだけはっきりしておいたほうがいいです。もう入らないっていうことでいいんですかね。

○網谷委員長 局長、それでいいんですか。

局長。

○三上議会事務局長 今、配信しましたが、大竹市議会委員会条例第2条で常任委員会の名称、委員の定数は次のとおりとするというところで、総務文教委員会と生活環境委員会しか記載されておりませんので、常任委員会ではありません。

○網谷委員長 この議論は、今、結論が出るような問題ではない気がするんですが。

日域委員。

○日域委員 いや、今、結論が出た問題じゃないですか。

要するに常任委員会と議会運営委員会と特別委員会があるんですよ。ここには議会運営委員会は書いていないから、この状態だったら、議会運営委員会の中継はしないと。特別委員会はそれぞれ決めると。常任委員会はやるとなったときに常任委員会2つあるから、それはしますよと。それでよかったら、これで丸ですよ。

単純なことだと思います。

○網谷委員長 3グループあるということですかね。早い話がね。

それはそれとしまして、今、我々が一番審議したいのは5つの特別委員会ということで。
(発言する者あり)

○日域委員 何ていうかな、ルールですよ、中継のね。あそこでもう決めてしまったらですよ、それは特別委員会のメンバーとか委員長に対して、上から目線で中継するでって決めるわけじゃけん、それは失礼な話やと思いますけども、できる規定にしておけば、できるようにしたけん、したけりゃしんさいやということで、決めやすいんじゃないかと思えますけどね。

○網谷委員長 今、それは一応承認いただいたので。

○日域委員 だから、この案で大きな問題はないような気がします。

さっき委員長からあった広報広聴特別委員会なんかね、もともと複数の色合いのものを持っていますからね。だから、これでいいんじゃないかと思えます。

○網谷委員長 ありがとうございます。

ということで、今回、案と出させていただいたものは、一応、これから、次の要綱の手続に入らせていただくということでよろしいですかね。

小田上委員。

○小田上委員 すみません。別にぐちゃぐちゃにしたいわけじゃないんですけど、北地委員から議会運営委員会が入るのかというところで、今まで正直意識していなかったんですけど、コロナ対策で中継していて、手間が変わらないと思うんですよ。事務局もやっているの。いっそのこと議会運営委員会と入れてもいいのかなと、思ったんですけど。午前中まだ時間あるし、ちょっと話してもいいのかなと、駄目ですか。

○網谷委員長 要するに、議会中継の対象とする会議は、本会議及び常任委員会とし、特別委員会も中継できるものとする。ここに議会運営委員会という文言も入れるという意味ですか。

日域委員。

○日域委員 特別委員会はね、たんびになくなるんですよ。たんびになくなっちゃ、つくっちゃするから、こういう文言になったんで、議会運営委員会というのは、局長が言われたみたいにね、最初からずっとあるわけですよ。常任委員会と非常に似た性格のものでしたら、やるんやったらやるって決めておかんとおかしいと思います。

○網谷委員長 ありがとうございます。

これは、議会改革特別委員会で常任委員会もできますかいね、議論は。

小田上委員。

○小田上委員 中継の要綱は、議会改革特別委員会で決めてお願いをしてきたという経緯があると思いますので、ここに議会運営委員会を入れるということは駄目じゃないと思いますし、あと、日域委員の言われた、本会議と常任委員会と同じ並びで、ここに議会運営委員会を入れるべきなんじゃないかなと思いました。

○網谷委員長 ありがとうございます。

順番でいきますと、本会議、議会運営委員会及び常任委員会ですかね。

局長、ちょっと意見をお願いできます。

局長。

○三上議会事務局長 順番としては、常任委員会が先だと思います。先ほどの委員会条例も常任委員会を規定した後に議会運営委員会が規定されていますので、順番としては常任委員会が先かなと思います。

○網谷委員長 常任委員会の後ですね。文章的にいいますと、「対象とする会議は、本会議、常任委員会及び議会運営委員会」になりますかね。

小田上委員。

○小田上委員 さっきの局長の説明で、常任委員会が先に規定されて議会運営委員会だということであれば、そこを目印にしましたということで、本会議、常任委員会、議会運営委員会の順番で入れていただいてもいいのかなと思います。

○網谷委員長 分かりました。

要するに、本会議、常任委員会、議会運営委員会ということにし、それから、特別委員会ということになるんか。順番とすればね。

もう一回、文章面を整理して、次回にかけますか。

(発言する者あり)

○網谷委員長 今の私が言った順番で、条文に入れてもよろしいですかという、まず、その意見を言っていたら。

藤川委員。

○藤川委員 なぜ議会運営委員会がユーチューブで放送されるようになったか、コロナ対策のためと、先ほど事務局長がおっしゃったんですが、コロナがなくなれば議会中継しないということで決まったんですかね。その辺私は忘れたんですけども。

もし、このまま引き継げるのであれば、議会運営委員会は入れないといけないと思いますし、やっぱり議会運営委員会に諮るべきなのかなと、聞いていて思ったんですが。

○網谷委員長 私の解釈では議会全体のことすからね。ネット中継ということで、特別委員

会、予算も決算も込みで考えておりますので、別に議会運営委員会の手承が要るとかいう問題では。

議長。

○賀屋議長 もともとこの中継に関する要綱ができた経緯もあるんですが、そのときには、当然、今と同じ議論をされてきたと思うんですが、議会運営委員会というのは入っていないんですね。

じゃあ、なぜ入っていないかというところなんですけど、議会運営委員会の中身ですよ。それは、執行部から議案の提案があって、その議案の報告、それと日程を確認、調整するという単なる周知のための会議であろうと。今まで議会運営委員会の中で、その提案や日程に対して異論が出たり議論になったり、そういうことはほとんどないと思うんですよ。議会、議員として、その会議の中で特に議論が深まるとか、発言が多く出るとかいう会議でないと思うんで、今までも中継の対象になっていないということを考えると、今からも議会運営委員会は中継しても、あまり面白みはないんじゃないかと。市民の興味は持てないんじゃないかと。むしろ、例えば協議会であるとか、研究会であるとか、そういうのを日程に入ったら、それは中継せんのかという議論になりかねんですよ。全部中継するという話になれば、都合が悪いのは中継しませんということになっていくのであれば、それは、やはり皆さんに、市民に公開すべきかどうかという部分だけをしっかりと考えていく必要もあるんじゃないかと思います。

何でもかんでも全て中継するという方向で行くんなら、さっき言ったようなものも含めて、全部中継をする必要が出てくるし、それをしないのであれば、選択するのであれば、議会運営委員会の性格上ね、それをすべきかどうかというのは、議論をしてるんだろうと思います。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。

今の議長の意見に対して、どう思われますかね。

小田上委員。

○小田上委員 まず、試行で中継を始めるというときに、前期の議会改革特別委員会で両常任委員長に試行させてくださいというお願いで始まってでの要綱だったんだろうと。なので、議会運営委員会の中継の必要性どうこうという会話をした記憶が正直ありません。とにかく常任委員会中継を始めてみたいという思いだったので、議会運営委員会の必要性は、触れられてないかなと思います。

加えてですね、こうやって話をして、例えば議会運営委員会を要綱に入りたい。この要綱で行かせてくれっていうところを最終的に決めるのって議会運営委員会だと思うんですよ。議会運営委員会って、議案の上程があって、定例会のときに日程決めて調整して終わりじゃなくって、内々のこの決め事も、最終的には議会運営委員会で諮って決めていただくと思います。

簡単に言えばですけども、中継やっていると、それを一般公開にするかどうかの差だけなので、してしまってもいいのかなと思いました。

議長が言われた必要性どうこうで、今、中継の中に入れている入れていないではなかったような気がします。

ただ、あまり議長の言われる際限なく公開っていうのも、研究会とか協議会とかで話をしたいという場面があれば、そこは上手に切り替えていく。ただ、基本的には公開していく姿勢は変えないほうがいいのかなとは思いました。

以上です。

○網谷委員長 小中委員。

○小中委員 確かに議長が言われるように、議会運営委員会を公開したからどういう効果があるのかというのは、私はよう分からんで、やっていますよというので、全部入れりゃあええんかつちゅうことになった場合を考えてるのか分かりませんが。

全部詰め込む必要はないと思います。コロナ対策で議会、庁舎内だけでやっているのは、職員の方々の便宜を考えてそうやってやっているだけの話で、これを一々何でもかんでも放送すりゃあ、これで安全なんかと、そういう思考にしか思えないんですよね。

個人的には、議会運営委員会は別に中継する必要はないと思います。

○網谷委員長 いろんな意見が出るんですがね、議長や小中委員が言われたように、何でもかんでもいうことになると、何か難しくなるんじゃないかなと思うような気もするんです。はい。

○小中委員 何でもかんでも詰め込むと、ややこしくなるので、もう分かりやすく本会議、常任委員会、特別委員会はできるで、私はいいと思います。

○網谷委員長 結局は元の文言にもどったんですがね。

この最初の言い出しは、予算・決算特別委員会ですよ。まず、これをできることを考えていただいたらと思います。

ということになりますと、先ほどの案の文言で私はよろしいんじゃないかと思うんですが、皆さん、どうですかね。

日域委員。

○日域委員 それでいいと思いますよ。

ただ、さっき小田上委員が言われた議会運営委員会の扱いですけども、確かに陳情を議会運営委員会でやったことがありますけども、あれになると、本当の審議ですから。そういう意味じゃ、今後気をつけなくちゃいけないかもしれない。それができればね、議会運営委員会って要するに手順を決めるだけですから、議会運営委員会を見ても面白くも何ともないわけですよ。本チャンは委員会でやりますからね、本会議と。だから、そこまではやらなくていいのかなと。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。

これで一旦決めさせていただいてよろしいですかね。この条文案をね。そうさせていただけます。

異議がある方は。おりませんね。

小田上委員。

○小田上委員 異議はないんですけど、この中で議会運営委員会を入れなくていいという方向になったのならば仕方がないと思いますので、異議があるとかっていうより、そういう話合いになりましたということです。

○網谷委員長 ありがとうございます。

蒸し返すようですが、私自身、議会運営委員会がね、常任委員会に入っとるものと思っていましたので、誤解があったようでございます。

今回、正副委員長、また、小中委員に応援していただいたこの条文で了解していただくことでよろしいですね。

ということで、決めさせていただきます。

先ほどの特別委員会の結論が出ていないというところもございますがね。基地周辺対策特別委員会は、まだ結論が出ておりませんので。

今、皆さんが説明しましたように、中継の件に関しては幅ができたということで、する必要がなければ、その委員会で結論を出していただいて、しませんというような方向を取れるし、今回はなかなか議論が進んで興味深いところございますので、皆さん、今回は中継させていただきましようかということになれば、中継もできるというふうにこの要綱では解釈できますので、そのところでよろしいですかね。

基地周辺対策特別委員会は、もうちょっと時間がかかるかも分かりませんが、これはこれでまた取り上げていただければと思います。

予算・決算特別委員会は正副委員長の判断でこの要綱では中継できるということになりましたので、考えていただいたらと思います。

ということで、これから次のステップに入りたいと思いますので、その辺のところは了解していただいたらと思います。

(発言する者あり)

○網谷委員長 これでまとまりましたということなんで、まだほかにあれば。

小田上委員。

○小田上委員 先ほど基地周辺対策特別委員会の話を聞いて思ったんですけども、ただ執行部の説明だけ聞いていても分からないであろうとかというのがあって、これまでこんなに阿多田島で騒音の数があってうるさいんだとかって分かったのは資料があつてこそなので、中継をするときに資料が分かるような状態にしておかないといけないのかなと。そこは課題かなと。

なので、広報広聴特別委員会だとすれば、次第とか、それぞれの出してもらった書類に関して公開していく。傍聴、ユーチューブで見た人が、それを見ながら傍聴できるとかっていう形をどう整えていくべきなのか。そこが課題というふうに思いました。

○網谷委員長 ありがとうございます。

どの特別委員会にしましても、正副委員長、委員会で判断していただいたらいいのではないかと思います。

日域委員。

○日域委員 さっきの基地周辺対策特別委員会の話まで広げるとですよ、あれっていろんな

色合いがあつて、執行部が説明しますよね。そのときの資料はね、防衛省から出てくるものですけども、そんな重要なものは出てこないと思いますけども、一応、防衛省がらみの情報なんですよ。あそこに出てきた騒音の数値なんかもね、最初はくれなかったんですからね、防衛省が。私が何で阿多田の漁協の組合長に見せて、議会に見さんのやって言うてしぶしぶ出したんですよ。で、初めて分かったんじゃないけど、あのデータというのは騒音データですけども、いつ飛行機がたくさん飛んでいるというデータですからね。だから、中継見た人がですよ、あのデータどこあるんやって言われたら、議員持ってますから、私だったら渡すかもしれないけど。

でも、単なる大竹市議会の話じゃなくて、あれは国とかね、極端に言えば米軍とかね、全部連なった問題じゃけん、慎重に考えてもいいのかなと。それでなくても日本の防衛省って、情報だだ漏れですからね。イージス艦の情報を漏らしたのは防衛相ですから、日本はアメリカから相手にされていないんですよ。物すごく情けない官庁ですよ。

だから、そこを自覚していかないと、今のこの国際情勢の中で、日本が一番助けてもらわなくちゃいけない立場ですから。大竹市議会という小さな議会であっても、少し関心を持っておいてほしいと思います。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。

基地周辺対策特別委員長、特によろしくをお願いします。

ということで、一応、要綱の確認と小中委員の読み原の確認はできたということで、この日程は終わりたいと思いますが、よろしいですかね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○網谷委員長 それでは、日程第3、その他で何かありましたら。

まだ先ほどの基地周辺対策特別委員会の議論せないけんところはあろうかと思うんですが。

そのほか、何かございましたら。

小田上委員。

○小田上委員 次、何をテーマとして取り組んでいくのかというものがあるのであれば。

○網谷委員長 それをね、今、聞こうかな思ひよったんですよ。委員の皆さんに。

何かあります。

一応、次回の委員会は年変わってしようかと思つとるんです。あまり回数的にもね、最初の提案では6月までということにしておりますので、6回を予定しております。その間に、これだけは決めてほしいとか、これをちょっと変えてほしいとか、そういうところがありましたら、宿題ということで、皆さんに考えていただいたらと思います。

それと同時に委員長報告の中でも書いておりましたとおり、議員のなり手不足、この辺のところも選挙が近くなってまいりますので、議論をしてまいりたいと思います。その辺も含めて、次回の委員会には考えておいていただいたらと思います。一応、宿題ということで。私が決めたらいいんですが、やっぱり皆さんの意見のほうの方が大事じゃろうと思いますので。

よろしいですかね、その辺で。

日域委員。

○日域委員 今回の委員長のお話に逆らうつもりはないですけども、この委員会ちゅうもの、そもそも、テーマがあったらつくるのが特別委員会ですから。特別委員会をつくってから、何しようかというのはあり得ないですよ。

だから、こういうところで公募するんじゃないくて、内々で探して、委員長がぼんと先に言ってほしいんですよ。今度これするけんって言ったら、自然なんですけども、

ここでね、今からテーマ公募しますっていうのは、本来の特別委員会の在り方と若干違うから、ちょっと気をつけてほしいなと。それだけです。

○網谷委員長 失礼しました。

昨年のスケジュール、計画では、皆さんから要望を聞きまして、前期委員会の15項目がございまして、15項目の中から、今までやったのが4つ。後期は議員定数問題を特化してやりましょうという皆さんの御意見が少し早く結論が出ましたということと、それから、今までやったことに対する、検証ですよ。これからももちろん検証も必要と思いますよ。

15項目の中で皆さんも最初の時点でそれ以上はないというような判断だったと思います。まだそれは生きとりますので、その15項目の中から、これをやってみようというようなことがございましたら、提案していただけたらと思います。それは、最初に皆さんにお伺いしとることなんでね。正直言って、これからの時間、スケジュールを見て、新しいものに挑戦するという、私自身ございません。皆さんから御要望があれば、問題について協議していただきたいなと考えておるんですが。どうですかね。

小中委員。

○小中委員 定数問題は現状維持で決着したんですけど、いわゆる現状維持派の根拠っちゅうか、なり手不足とかいう話があったんですけど。さっきヤフーニュースを見てたら、神奈川県の大井町長選のときに町議補選があって立候補者ゼロで、なり手不足が深刻だというふうに書いてあったんです。定数問題は決着したにせよ、情報発信いうか、市議会がこんなことやってますいうだけじゃなくて、あと何回かあるんで、なり手不足解消のために何かあるんかっていうのをもうちょっと考えてもええんかなと、神奈川県大井町議選に立候補者ゼロっちゅうニュースを見て思いました。

○網谷委員長 ありがとう。

なり手不足は、委員長報告にも最終的に研究すると項目も入っておりますので、この議会中継が一段落したと私は見たんで、なり手不足も含めて、ほかにあればという問いかけしたのがあまりよくなかったかと思いますが、いろんなことを皆さんに考えていただいて、次回の委員会で発表するなり、研究するなり、勉強していけたらと思います。

それくらいでよろしいですかね。

よろしければ、次回の開催日を決めたいんですが。

1月10日の週、どうですかね。

(発言する者あり)

○網谷委員長 12日か16日、どちらがいいですかね。

〔「16日のほうが」と呼ぶ者あり〕

○網谷委員長 16日は皆さんどうですかね。議会運営委員会があるんですが。

(発言する者あり)

○網谷委員長 局長よろしいですかね。

令和5年1月16日、議会運営委員会の後ということで、よろしくお願いします。

以上で、よろしいですかね。

それでは、議会改革特別委員会をこれにて閉会といたします。

お疲れさまでした。

12時00分 閉会